

いまずぐ解散・総選挙を 政治をおおもとから変えよう



声援に応える塩川(左)と藤井(右)の両氏=日光市



演説する梅村候補=高根沢町

日本共産党の塩川鉄也衆議院議員は8日、日光市足尾町で開かれた演説会で党の役割と政策を語り、総選挙で日本共産党の躍進へ大きな支援を訴えました。会場には、足尾の住民など約90人が集まり、弁士への大きな拍手や声援が寄せられました。塩川議員は、大幅な会期延長で過去最長、9月まで続いた通常国会で、野田首相がやったことは、公約にない消費増税の増税、大飯原発の再稼働や、危険な

と、アメリカいなりとの仕組みとなっている安条約をなくせば、憲法9条を生かした、本当の平和外交の道が開けると具体例をあげながら説明しました。さらに、国政の進出を決めた「維新の会」は、日米軍事同盟を認める、民主に続く「第3の自民党だ」と指摘しました。はじめの国政挑戦となる藤井豊栃木2区候補は、比例での躍進に力をつくすとともに、希望が持てる政治の実現をめざし、全力で頑張るといさつし、支援を訴えました。

67回目の終戦記念日 平和を守る誓い新たに



二荒山神社前で宣伝する(左から)荒川、たなべ、福田、野村の各氏=宇都宮市

終戦記念日の8月15日、日本共産党の、たなべ明男衆議院議員、区候補、荒川恒男、福田久美子両宇都宮市議、野村せつ子元県議は、市内で宣伝に取り組みました。たなべ候補は、現憲法を守り、豊かな平和な社会の建設に奮闘する決意を表明しました。

栃木民主新報

日本共産党栃木県委員会
発行人 小林 年 治
栃木県宇都宮市東浦町21-12 〒321-0167
電話 028(658)4302
FAX 028(658)4374
発行日 毎月第3日曜日
1ヶ月100円

日本共産党の塩川鉄也衆議院議員は8日、日光市足尾町で開かれた演説会で党の役割と政策を語り、総選挙で日本共産党の躍進へ大きな支援を訴えました。会場には、足尾の住民など約90人が集まり、弁士への大きな拍手や声援が寄せられました。塩川議員は、大幅な会期延長で過去最長、9月まで続いた通常国会で、野田首相がやったことは、公約にない消費増税の増税、大飯原発の再稼働や、危険な

ンビの2議席の実現を、小選挙区では、藤井豊氏を押し上げてほしいと訴えました。また塩川氏は、自民党政治と共通する民主政治の歪みのおおもとに、国民が主人公ではなく、財界中心、アメリカいなり政治があり、消費増税の増税や原発の再稼働、オスプレイの配備などで国民の願いを踏みにじっている指摘。この現状をかえることこそ、今度の総選挙の大事な仕事と強調しました。

県民の中にとびこんで 対話と宣伝



市民と対話する秋山候補=那須塩原市



介護施設を訪ね、職員や利用者から要望を聞き取る早乙女利次衆議院4区候補(中央)=栃木市

解散・総選挙の可能全小選挙区の候補者5氏を先頭に、消費増税と、日本共産党県委員と対話を広げています。プロックでの2議席確保また、選挙で勝ち抜く保をめぐり、衆議院栃木支部は、拡大でも取り組みを強めています。たなべ明男1区候補は、官邸前抗議行動に呼応した宇都宮市内で「原発ゼロ市民行動」の「原発ゼロ市民行動」

いすゞ争議に支援を 9月21日 第1回口頭弁論

いすゞ「非正規切り」この不当判決にたいし裁判の東京高裁での控訴側が救済を求め控訴日程が決まり、第1回口頭弁論が9月21日(金)、午後3時から101号法廷でおこなわれます。いすゞ自動車「非正規切り」されたJMIU組合員12人が同社に正社員化などを求めた訴訟の東京地裁での判決(4月16日)は、雇止めについて、同社が「剰員」とした主張を認めるなど有効と判断。地位確認や損害賠償など主要な論点で原告の訴えをほぼ棄却する不当な判決でした。控訴審は、



「赤旗」連載小説「時の行路」挿画集より、いすゞ自動車「非正規切り」闘争支援の絵はがきセットが完成。8枚組500円。売り上げの一部が争議支援に。お問い合わせは党県委員会 028(658)4302まで

「改憲」大連立許すな 9条の会が学習会

9条の会栃木(宮本栄三代表役員)は1日、宇都宮市内で学習会を開催し、改憲の策動や9条空洞化の動きについて学習しました。講演を行った宮本栄三代表(宇都宮大学名誉教授)は、日本国憲法がなぜ大切なのか、立憲主義の原点にたって詳しく述べるとも



講演する宮本代表

に、最近の改憲論の高まりについて自民改憲案にもふれて厳しく批判しました。続いて田中徹歩事務局長が新防衛計画大綱と日米同盟の深化など9条空洞化の危険な実態について報告しました。参加者は「橋下氏の大阪維新の会が9条の是非を国民投票にかけ

“原発ゼロへ”共同行動広げよう



東電栃木支店前を歩き、「原発なくせ」と唱和する参加者=宇都宮市

原発ゼロ栃木の会は、宇都宮中心街を歩毎週金曜日の夜、首相官邸前抗議行動に連帯を呼びかけています。3回目となった7日は、約20人の市民が思い思いのプラカードなどをかかげ、約30分の行程を歩きました。

“脱原発の一点であつまろう”

11月11日に1000人パレード計画

脱原発の一点で県民が大集結するパレードを実施するため結成した「栃木県脱原発パレード実行委員会」(大木一俊代表)は、パレードの計画概要を発表しました。作家の落合恵子さんがよびかけ人として参加し、スピーチを行う予定です。プレコンサートと開会集会も計画中です。日本共産党県委員会、原発ゼロ栃木の会などもよびかけ団体・幹事として参加しています。実行委員会は、よびかけ人・団体を募集しています。

◆日時 2012年11月11日(日) 午後12時~15時予定

◆会場 宇都宮市城址公園

吉井議員迎え、講演会 原発ゼロ栃木の会



講演する吉川衆議院議員

原発をなくす栃木県念講演会を開き、約300人が参加しました。口栃木の会)は8月「原発ゼロ」アピール11日、とちぎ健康の森を採択するなど熱気あ(宇都宮市)で「結成記」の講演となりました。講演会では、日本共産党の吉井英勝衆議院議員(党中央原発エネルギー対策委員会責任者)が「福島原発事故の検証とこれからのエネルギー政策の展望」と題して約90分にわたり講演。未完成の原発技術の実態を示し、事故の検証のあり方について「東電は想定外の津波としたが、国会の事故調査委員会では人災と検証。この立場から事故を検証していく必要がある」と強調しました。今後のエネルギー政策では、地域の農林業者や中小企業が参加し、現場に合った自然エネルギーによる発電設備を構築する重要性を述べました。集会は、「原発ゼロ」